

 介護のあるべき姿を追究するために  
技術と専門性の修得を目指す

介護への出発点は、16歳。昭和63年のことです。近所にできたばかりの介護老人保健施設(老健)の事務長さんが「働いてみたら」と声をかけてくれたことが、始まりでした。お年寄りは大好きでしたが、当時はホームヘルパーという資格もなく、高校生の私には職業に結び付くとは考えられませんでした。しかし、事務長さんの声かけでアルバイトをするようになると、毎日が楽しくて。「これしかない!」と、高齢者福祉への道がはっきり見えてきましたのです。事務長さんのひとことが、私の人生を変えたのですね。高校卒業後、いったんはその老健へ就職しましたが事務長さんの勧めもあり、日本福祉大学の夜間に入学しました。老健で働いたことで介護技術は身に付けましたから、今度は大学で専門知識を学び、自分自身が求める介護のあり方を追究しようと考えたからです。

当時は、「小規模多機能型居宅介護」のような、介護を必要とするお年寄りを24時間切れ間なくサービスしようという考え方もなく、介護が必要なお年寄りが自宅で生活することは至難の業。「これはおかしい」「なんとかしなきゃ」という思いが、いつも心の片隅にありました。

高校時代と同様、大学時代も学業と老人福祉施設での介護をするという2足のわらじ。老人福祉施設で付き添っていた利用者さんが亡くなったときには、あまりのショックで「辞めよう」と思ったことがあります、施設長さ

んから「介護という仕事の厳しさ、大変さを君は身を持って体験したはずだ。その人の死を無駄にしないためにも、君にはすべきことがあるだろう」と諭されました。その施設長さんは70歳を過ぎてから、日本福祉大学の大学院に入学しましたが、私も大学時代の担当教官だった加藤幸雄先生(現日本福祉大学学長)の勧めもあり、専門性を追求ようと大学院に入学しました。

 必要とされているサービスを  
必要なだけ提供するために

大学院で修士を取得後、加藤先生は教員への大の道を勧めてくれましたが、その言葉を振り切って会社を立ち上げ、訪問介護と訪問入浴介護サービスを開始しました。お年寄りが本当に必要としているサービスを必要なだけ提供するためには、訪問介護のようなマンツーマンが、私の追求する介護の姿だと考えたからです。現在は、有料老人ホームを2棟、来年には新しい有料老人ホームを開設予定ですが、やはり基本はマンツーマン。お年寄りはわがままだから、介護は大変だろうと思われがちですが、私はそうは思いません。例えばカロリー制限が必要なお年寄りがおまんじゅうを食べたいといったときには、「今、おまんじゅうを食べると夕食のご飯は半分に



食事介助をする水野小百合さん

なりますが、どっちにされますか」と、本人を選択をさせる。相手の立場を考え、自主性を尊重することで、心を開いてくれるようになりますし、カロリー制限等、自分の置かれた状況も理解してくれるようになります。

介護保険制度導入から10年以上経ちましたが、ヘルパーさんの存在もすっかり定着しました。「いつもヘルパーさんに良くしてもらっているから、私もヘルパーさんに何かをしてあげたい」と、利用者のお年寄りがお手製のビーズのキーホルダーをヘルパーさんにプレゼントするようなケースもあり、ヘルパーさんとの温かい交流が利用者さんの元気の源

になっているようです。ヘルパーさん自身も介護技術にプラスα、得意分野や個性を発揮してお年寄りに喜ばれると、仕事に誇りや生きがいを感じられるようになります。現場で頑張っているヘルパーさんは、

大変以上のお楽しみをお年寄りからもらっています。自分を待ってくれるお年寄りがいると思うと、この仕事はやめられないと思います。超高齢社会の到来が予測されていますが、超高齢社会を支えるために、ぜひ一緒に頑張りましょう。

# 水野 小百合さん

代表取締役  
有限会社猫嫁 在宅福祉総合サポートセンターひだまり



自分を待ってくれるお年寄りがいるから、  
励みになり、生きがいを感じています。

## 訪問介護員募集

あなたと一緒に働きませんか?

正社員	パート	正社員	パート
募集職種	訪問介護員	勤務地	名古屋市千種区
資格	ヘルパー2級以上	休日	シフト制
勤務時間	8:00~18:30(シフト制)	応相談	待遇・福利厚生
給与	20万円~	昇給・賞与あり、交通費、有給休暇	昇給・賞与あり、交通費
	経験・資格による	その他	当社就業規定による

お問い合わせ/(有)猫嫁 在宅福祉総合サポートセンターひだまり 名古屋市千種区千種2丁目24-2 tel.052-732-8872



必要とされるサービスを必要なだけ提供するために訪問介護と訪問入浴介護サービスを開始した水野小百合さん。介護への取り組みは高校1年生のとき。専門性を追求ながら、介護のあるべき姿を追求してきました。現在、在宅福祉総合サポートセンターひだまりの代表として介護の現場を支える水野さんに、介護の魅力や生きがいについて語っていただきました。

プロフィル／みずの・さゆり  
介護支援専門員(ケアマネージャー)、介護福祉士。2002年、日本福祉大学大学院社会福祉学修士。高校時代の介護老人保健施設のアルバイトを契機に高齢者福祉の道へ。学業と並行して老人福祉施設等で様々な経験を積む。大学卒業後、高校の福祉科の専任教員として教壇に立つが、大学時代の恩師の呼びかけで、日本福祉大学大学院に入学。修士取得後の02年3月、有限会社猫嫁 在宅福祉総合サポートセンターひだまり設立。代表取締役就任。